

令和元年度

大空町教育委員会の活動状況に
関する点検・評価報告書

令和2年9月

大空町教育委員会

は じ め に

～ 事務の点検・評価の意義及び取組について ～

今日、教育を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中で、教育委員会においては、責任体制の明確化や体制の充実を図り、教育行政の中心的な担い手としてその役割を果たしていくことが求められています。

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

このことを受け、大空町教育委員会としては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会の事務の管理・執行状況について、毎年度、点検・評価を行い、報告書を作成し平成20年度分から公表しています。

本年度は、令和元年度に教育委員会が行った活動状況や、各種教育計画の実施状況について、点検・評価を行い、成果や課題と課題解決に向けた取組の方向性を分かりやすく記述しました。

大空町教育委員会としては、『北海道教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書』を参考に、点検・評価の実施方法及び報告書の様式について改善・充実を図りながら、平成30年度に策定した「第2次大空町教育推進計画」に基づく教育施策の着実な推進に努めてまいりたいと考えていますので、町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年9月

大空町教育委員会

目 次

第1部 教育委員会の活動状況

1	教育長及び教育委員	1
2	教育委員会の会議等の開催状況	2
(1)	教育委員会会議と付議された案件等	2
(2)	教育委員会協議会の開催状況	5
3	条例・規則等の制定、計画等の策定状況	6
(1)	条例・規則・要綱・要領	6
(2)	主な計画等の策定状況	6
4	教育委員会委員の活動状況	7
5	教育関係機関等の活動状況	8
6	学校に対する指導・助言・指示等の状況	9
(1)	通知・通達等（主なもの）	9
(2)	校長・園長会議及び教頭会議における示達等	11
7	町民に対する情報提供	14
8	令和元年度教育関係予算の最終状況	15
9	令和元年度教育関係予算の主な事業に係る最終予算	16

第2部 学校教育活動に係る反省・評価

1	令和元年度大空町教育推進方針に係る反省・評価	19
2	各幼稚園・各小中高等学校における反省・評価	24

第3部 社会教育活動に係る反省・評価

1	令和元年度大空町教育推進方針に係る反省・評価	25
2	令和元年度大空町社会教育推進計画に係る反省・評価	29

第1部 教育委員会の活動状況

1 教育長及び教育委員

教育長及び教育委員は、下記の表のとおりとなっている。

役 職	委 員 名	任 期	期
教 育 長	渡 邊 國 夫	平成22年6月12日～平成26年6月11日 平成26年6月12日～平成30年6月11日 平成30年6月12日～令和3年6月11日	I期 II期 III期
教育委員 (教育長職務代理者)	福 田 淳 一	平成23年6月12日～平成27年6月11日 平成27年6月12日～令和元年6月11日 令和元年6月12日～令和5年6月11日	I期 II期 III期
教育委員	神 田 靖 治	平成24年6月12日～平成28年6月11日 平成28年6月12日～令和2年6月11日	I期 II期
教育委員	三 浦 裕 幸	平成29年6月12日～令和3年6月11日	I期
教育委員	矢 浪 亜由美	平成30年6月12日～令和4年6月11日	I期

*令和2年3月31日現在

2 教育委員会の会議等の開催状況

(1) 教育委員会会議と付議された案件等

教育委員会会議は、原則として公開であるが、個人情報に係る案件は非公開としている。
また、会議は毎月1回を定例としているが、急な案件がある場合は随時開催している。

*回数は、年度初めの4月から年度末の3月までの開催回数を表記。出席数には、教育長を含む。

回数	開催年月日	出席数	開催場所	付議案件（報告、議案、その他）	公開別	結果
第1回	平成31年4月18日	5名	大空町役場3階2号会議室			
				〔報告〕 ・大空町教育委員会事務局職員の任免について	公開	
				〔議案〕 ・大空町立学校評議員の委嘱について	公開	議決
				・大空町社会教育委員の解嘱について	公開	議決
				・大空町社会教育委員の委嘱について	公開	議決
				・大空町スポーツ推進委員の解嘱について	公開	議決
				・大空町スポーツ推進委員の委嘱について	公開	議決
				・大空町教育支援委員会委員の解嘱について	公開	議決
				・大空町教育支援委員会委員の委嘱について	公開	議決
				・平成31年度大空町教育推進方針について	公開	議決
				・大空町通級指導教室通級に係る児童の認定について	非公開	議決
第2回	令和元年5月29日	5名	東藻琴総合支所委員会室			
				〔議案〕 ・大空町学校給食センター運営委員会委員の解嘱について	公開	議決
				・大空町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	公開	議決
				・令和元年度大空町教育委員会事務局の経営方針について	公開	議決
				・令和元年度大空町教育推進方針について	公開	議決
				・令和元年度大空町社会教育推進計画について	公開	議決
				・大空町通級指導教室通級に係る児童の認定について	非公開	議決
第3回	令和元年6月12日	5名	東藻琴総合支所委員会室			
				〔議案〕 ・奨学金の貸付について	非公開	議決
				・大空町文化、芸能、スポーツ大会参加助成に関する規程の一部を改正する告示について	公開	議決
				・令和元年度大空町一般会計補正予算（第3号）のうち教育委員会関係補正予算（第1号）について	公開	議決

第4回	令和元年7月18日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔報告〕					
・工事請負契約の締結について				公 開	
・工事請負契約の締結について				公 開	
〔議案〕					
・大空町教育委員会事務局職員の任免について				公 開	議決
・女満別高等学校生徒寄宿舎使用料の減免について				非公開	議決
・令和元年度全国学力・学習状況調査結果公表方針について				公 開	議決
・令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果公表方針について				公 開	議決
第5回	令和元年8月29日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔報告〕					
・令和2年度北海道東藻琴高等学校において使用する教科用図書について				公 開	
〔議案〕					
・令和2年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書並びに令和2年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について				公 開	議決
・平成30年度大空町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について				公 開	議決
・大空町立幼稚園入園料及び保育料に関する条例等の一部を改正する条例制定について				公 開	議決
・令和元年度大空町一般会計補正予算（第5号）のうち教育委員会関係補正予算（第2号）について				公 開	議決
第6回	令和元年9月18日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔議案〕					
・大空町立高等学校学則の一部を改正する規則制定について				公 開	議決
・大空町公設塾実施要綱の制定について				公 開	議決
第7回	令和元年10月28日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔議案〕					
・大空町通級指導教室通級に係る児童の認定について				非公開	議決
第8回	令和元年11月21日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
・前回会議録の承認について				公 開	
・事務報告				公 開	
第9回	令和元年12月11日	4名	大空町役場3階2号会議室		
〔議案〕					
・大空町通級指導教室通級に係る児童の認定について				非公開	議決
・令和元年度大空町一般会計補正予算（第6号）のうち教育委員会関係補正予算（第3号）について				公 開	議決

第10回	令和2年1月27日	5名	女満別研修会館第2会議室		
〔報告〕 ・指定管理者の指定について 〔議案〕 ・大空町立小・中・高等学校職員の訓告等取扱規程の制定について ・大空町立東藻琴中学校教職員の処分について ・大空町豊住交流センター条例の制定について ・大空町豊住交流センター条例施行規則の制定について ・大空町通級指導教室通級に係る児童の認定について ・大空町入学資金借入金利子等助成の認定について				公開	議決
第11回	令和2年2月27日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔議案〕 ・大空町文化財指定要綱の制定について ・大空町文化財指定基準の制定について ・大空町東藻琴生涯学習センター条例の一部を改正する条例制定について ・大空町学校運営協議会規則の制定について ・大空町特別職公務員の報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例制定について ・令和2年度大空町立小中学校特別支援学級入級に係る児童・生徒の就学認定について ・令和元年度大空町一般会計補正予算（第8号）のうち教育委員会関係補正予算（第4号）について ・令和2年度大空町一般会計予算のうち教育委員会関係予算について				公開	議決
第12回	令和2年3月19日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔議案〕 ・学校職員人事異動の内申について ・大空町学校医の委嘱について ・大空町学校歯科医の委嘱について ・大空町学校薬剤師の委嘱について ・大空町教育支援委員会委員の委嘱について ・大空町学校運営協議会の設置について ・大空町奨学金返済支援事業補助金交付要綱の制定について ・教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について ・修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令制定について				公開	議決

(2) 教育委員会協議会の開催状況

教育委員会協議会は、重要案件に係る協議や教育委員相互の意見交換の場として、必要に応じて非公開で開催している。

回数	開催年月日	開催場所	出席数	公開別
1	令和元年 6月12日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕・新しい高校づくりについて ・認定こども園について			
2	令和元年 7月18日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕・新しい高校づくりについて			
3	令和元年 8月29日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕・幼児教育・保育の無償化について ・令和元年度大空町立豊住保育園管理運営業務委託料について			
4	令和元年 9月18日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕・新しい高校づくりについて			
5	令和元年10月28日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕・平成31年度全国学力・学習状況調査結果について			
6	令和2年 1月16日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕・大空町立小・中・高等学校職員の訓告等取扱規程の制定について			
7	令和2年 1月27日	女満別研修会館第2会議室	5名	非公開
	〔協議題〕・新しい高校づくりについて ・認定こども園について			
8	令和2年 2月27日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕・高校・認定こども園推進室に関連する新年度事業概要について ・奨学金返済支援事業の創設について ・令和2年度大空町教育行政方針について			
9	令和2年 3月 3日	女満別研修会館第2会議室	5名	非公開
	〔協議題〕・新型コロナウイルス感染症の対応について			
10	令和2年 3月19日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕・新しい高校づくりについて ・令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について ・令和元年度大空町教育委員会学校訪問報告書について			

※出席数には、教育長を含む。

3 条例・規則等の制定、計画等の策定状況

令和元年度中に制定された条例は3件、規則は4件、要綱は2件、要領は1件である。

(1) 条例・規則・要綱・要領

類別	題 名	公布年月日	施行年月日
条例	・大空町立幼稚園入園料及び保育料に関する条例等の一部を改正する条例制定について	R元. 9. 12	R元. 10. 1
	・大空町豊住交流センター条例の制定について	R 2. 3. 12	R 2. 4. 1
	・大空町東藻琴生涯学習センター条例の一部を改正する条例制定について	R 2. 3. 12	R 2. 4. 1
規則	・大空町立高等学校学則の一部を改正する規則制定について	R元. 10. 3	R元. 10. 3
	・大空町学校運営協議会規則の制定について	R 2. 3. 3	R 2. 4. 1
	・大空町豊住交流センター条例施行規則の制定について	R 2. 3. 12	R 2. 4. 1
	・教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について	R 2. 3. 25	R 2. 4. 1
要綱	・大空町公設塾実施要綱の制定について	R元. 9. 18	R元. 9. 28
	・大空町文化財指定要綱の制定について	R 2. 3. 12	R 2. 4. 1
要領	・修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令制定について	R 2. 3. 25	R 2. 4. 1

(2) 主な計画等の策定状況

年 月 日	計 画 等 名
H21. 3. 30	大空町教育推進計画（平成21～30年度）
H28. 3. 28	大空町いじめ防止基本方針
H30. 3. 5	大空町図書館第3期5ヶ年計画（平成30～34年度）
H30. 3. 5	大空町第3次子どもの読書活動推進計画（平成30～34年度）
H31. 4. 1	第2次大空町教育推進計画（平成31～35年度）
R元. 5. 29	令和元年度大空町教育推進方針
R元. 5. 29	令和元年度大空町社会教育推進計画

4 教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、教育委員会会議や教育委員会協議会のほか、オホーツク管内及び網走ブロック教育委員会協議会の総会・研修会、町内の各幼稚園や各小中高等学校の入学式・卒業式への参列、学校視察などの活動をしている。

開催年月日	開催場所	出席委員数	備 考
平成31年 4月 2日	東藻琴農村環境 改善センター	5名	学校職員辞令交付式
平成31年 4月 8日 ～ 平成31年 4月10日	各幼稚園・学校	5名	各幼稚園・小中高等学校入学式
平成31年 4月24日	町 内	5名	大空町教育懇話会
令和元年 7月 2日	網走市	2名	オホーツク管内教育委員会協議会役員会・総会
令和元年 7月18日	網走市	5名	網走ブロック教育委員会協議会総会・研修会
令和元年 7月10日 ～ 令和元年 7月11日	札幌市・美唄市 ・岩見沢市	5名	北海道市町村教育委員研修会・視察研修
令和元年12月 9日	網走市	4名	オホーツク管内市町村教育委員大会
令和元年12月11日	大空町役場	4名	大空町総合教育会議
令和 2年 1月12日	議事堂文化ホール	5名	大空町成人式
令和 2年 1月27日 ～ 令和 2年 1月30日	各幼稚園・学校	5名	各幼稚園・小中高等学校訪問

※出席委員数には、教育長を含む。

※新型コロナウイルス感染予防対策により、令和2年3月に予定していた各幼稚園・小中学校の卒業式への参列及び大空町教育懇話会は中止となった。

5 教育関係機関等の活動状況

条例等の規定に基づいて委嘱又は任命された委員で構成する教育関係機関等においては、様々な活動がなされている。

機 関 名 等	委員数	主な審議事項及び活動内容
大空町社会教育委員	1 6	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員全体会議（5回） ・令和元年度大空町社会教育計画の策定と平成30年度事業の反省評価 ・社会教育中期計画策定に係る調査・研究
大空町教育支援委員会	1 1	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級入級並びに特別支援学校入学に係る児童生徒の就学の認定について
大空町学校給食センター運営委員会	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度学校給食費収支決算について ・令和2年度学校給食費の単価について
大空町スポーツ推進委員	2 0	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業計画について ・各種社会体育事業の主催・支援・協力 ・自主研修の実施
大空町青少年健全育成指導委員会	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度実績報告及び令和元年度活動計画について ・大空町青少年健全育成町民会議との連携
大空町図書館協議会	5	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度大空町図書館事業及び実績報告について ・平成30年度図書館運営に関する評価 ・令和元年度大空町図書館事業計画について
大空町青少年問題協議会	1 6	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の状況と育成環境について ・青少年の健全育成・指導等について ・青少年健全育成関係機関・団体の取組について
大空町生涯学習奨励員協議会	1 6	<ul style="list-style-type: none"> ・大空町検定の企画・運営 ・大空町探索会の企画・運営 ・町民の生涯学習活動支援 ・町民大学講座の企画・運営
大空町学校評議員会	2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園・各小中高等学校の経営計画概要の説明及び意見交換
大空町文化財保護審議会	1 0	<ul style="list-style-type: none"> ・大空町文化財指定要綱及び大空町文化財指定基準の制定について（書面審議）

6 学校に対する指導・助言・指示等の状況

学校に対する指導・助言・指示等は、通知・通達等によるほか、定例の校長・園長会議や教頭会議も含めて年間を通して行っている。また、事案の発生等に応じて、随時の指導・助言・指示も行っている。

(1) 通知・通達等（主なもの）

年月日	件名
H31. 4. 2	経済的理由により修学困難な学生等に対する支援策の周知について
H31. 4. 4	元号の制定について
H31. 4. 22	「天皇の即位の日及び即位礼正殿の儀の行われる日を休日とする法律」の円滑な施行について
R 元. 5. 8	昇給及び勤勉手当の給与決定手続に関する手引の一部改正について
R 元. 5. 9	中・高等学校の英語教師及び小学校教師の英語力の強化について
R 元. 5. 20	学校における体育・運動部活動における不適切な指導根絶に向けた取組について
R 元. 5. 30	管内コンプライアンス確立会議における令和元年度（2019年度）の重点目標及び重点的な取組の設定について
R 元. 6. 6	運動部活動用指導手引について
R 元. 6. 11	登下校時における児童生徒の安全確保について
R 元. 6. 13	教職員の勤務管理の適正化に関する資料について
R 元. 6. 19	夏季休業に向けての児童生徒の指導等について
R 元. 7. 1	令和元年度（2019年度）コミュニティ・スクール推進協議会の実施について
R 元. 7. 2	平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査における結果の提供・公表日について
R 元. 7. 9	飲酒運転根絶に向けた取組について
R 元. 7. 24	年次有給休暇の計画的な使用の促進について
R 元. 7. 29	校舎等の施錠の徹底について
R 元. 8. 6	令和2年度（2020年度）使用小学部及び中学部を置く道立特別支援学校用教科用図書の採択について（通知）
R 元. 8. 8	平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の取扱い及び調査結果の活用について
R 元. 8. 19	少年を特殊詐欺に加担させないための取組の推進について
R 元. 8. 21	校内放送を活用した非行防止教室の積極的な実施について
R 元. 8. 26	労働基準法第36条に基づく時間外及び休日の労働に関する協定の締結等について
R 元. 8. 27	「北海道シェイクアウト」の実施について
R 元. 9. 2	未来の学びプログラミング教育推進月間（みらプロ）の開始について
R 元. 9. 3	令和元年度「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムについて
R 元. 9. 4	「令和元年度分析ツール北海道版①」の活用について
R 元. 9. 13	命を大切に教育の一層の充実について

R 元. 9. 17	即位礼正殿の儀、祝賀御列の儀等に伴う協力について
R 元. 9. 18	「令和元年度分析ツール北海道版②」の活用について
R 元. 9. 24	令和元年度（2019年度）学校における働き方改革北海道アクション・プランに係る取組状況調査について
R 元. 9. 24	学校における国旗及び国歌に関する指導について
R 元. 9. 26	児童生徒の欠席に対する支援の在り方について
R 元. 9. 26	即位礼正殿の儀当日における祝意奉表について
R 元. 10. 16	児童生徒への指導に課題の見られる教員の把握について
R 元. 10. 24	幼稚園、認定こども園、特別支援学校幼稚部における預かり保育の質の向上について
R 元. 10. 31	教育職員の時間外勤務等に係る実態調査について
R 元. 11. 6	「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書」について
R 元. 11. 6	不登校児童生徒への支援の在り方について
R 元. 11. 26	勤務規律の確保について
R 元. 11. 28	冬季休業に向けての児童生徒の指導等について
R 元. 11. 29	生徒指導に係る情報の取扱いについて
R 元. 12. 2	令和2年度（2020年度）道立高等学校入学者選抜について
R 元. 12. 3	「子供の貧困対策に関する大綱」の策定について
R 元. 12. 5	校則の積極的な見直しについて
R 元. 12. 13	教職員の勤務規律の保持について
R 元. 12. 18	令和2年度全国学力・学習状況調査の実施について
R 元. 12. 20	「教育の情報化に関する手引（令和元年12月）」の公表について
R 元. 12. 23	令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
R 元. 12. 27	教職員の勤務時間の適正な管理（把握・記録）について
R 2. 1. 10	令和2年度（2020年度）道立高等学校入学者選抜後における学級数の調整等について
R 2. 1. 21	「公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員のサービスを監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する指針」の告示等について
R 2. 2. 18	道立学校修学旅行実施基準の一部改正について
R 2. 2. 21	令和2年度（2020年度）市町村立高等学校入学者選抜の実施について
R 2. 2. 26	新型コロナウイルス対策としての全町一斉休園・休校措置について
R 2. 3. 4	新型コロナウイルス感染予防のための休園・休校期間の延長などについて
R 2. 3. 11	令和2年度（2020年度）道立高等学校入学者選抜について
R 2. 3. 17	令和2年度全国学力・学習状況調査について
R 2. 3. 23	春休み期間中の部活動等の自粛について
R 2. 3. 25	「事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針」の制定等について
R 2. 3. 31	学校・幼稚園及び保育園の新学期からの再開について

(2) 校長・園長会議及び教頭会議における示達等

校長・園長会議は、各幼稚園、各小中高等学校の校長・園長が参加して毎月1回を定例として開催している。教頭会議は、各小中高等学校の教頭が参加して毎月1回を定例として開催している。両会議の内容はほぼ同様なので、ここでは校長・園長会議における主な示達内容を掲載する。

開催年月日	主 な 示 達 等
H31. 4. 2 (第1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度当初教職員人事異動について ・主任命課について ・平成31年度大空町教育推進方針(案)について ・平成31年度全国学力・学習状況調査について ・法令遵守義務違反者に対する教育長からの指導について ・学校行事等終了に伴う礼状の省略について ・管理職の週休日、祝日等の業務の見直しについて ・学校経営報告書の提出について ・平成31年度『学校経営計画書』の提出について ・平成31年度大空町教育経営計画書『大空町の教育』の発行について
H31. 4. 25 (第2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営推進に当たっての教育長からの指示事項について ・管内教育長会議におけるオホーツク教育局からの指示事項等について ・大空町教育大綱について ・大空町学力向上プラン(案)について ・平成31年度学校課題解決のための方策・スケジュール(上半期)の提出について ・平成31年度大空町教育経営計画書『大空町の教育』の発行について ・平成31年度学校職員人事評価制度の実施について ・校内外の教育環境整備について ・学校経営報告書の交流について
R元. 5. 22 (第3回)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年6月期における勤勉手当の給与決定手続きについて ・教職員の不祥事防止について ・児童生徒の学習評価及び指導要録の一部改正について ・「C4 t h」を使用した出退勤時間管理について ・大空町立学校体育文化振興補助金について ・4月の学校経営報告書の交流について
R元. 6. 26 (第4回)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の6月期勤勉手当について ・令和2年度教頭昇任候補者について ・令和元年度全国学力・学習状況調査結果公表方針(案)について ・令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果公表方針(案)について ・夏季休業に向けての児童生徒の指導等について ・携帯電話等所有状況調査結果について ・5月の学校経営報告書の交流について

R元. 7. 24 (第5回)	<ul style="list-style-type: none"> ・第47回交通安全大会・第69回社会を明るくする運動大会参加のお礼について ・管内教育長会議におけるオホーツク教育局からの指示事項等について ・大空町立学校ホームページ等開設基準について ・「大空町児童・生徒サミット(仮)」の開催について ・6月の学校経営報告書の交流について
R元. 8. 22 (第6回)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の交通安全指導の徹底について ・令和2年度当初人事異動に係る校長・教頭人事面談の実施について ・令和元年度全国学力・学習状況調査における結果の提供・公表日について ・7月の学校経営報告書の交流について
R元. 9. 25 (第7回)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度当初人事作業日程について ・令和元年度上半期学校課題解決スケジュールの評価結果及び下半期学校課題解決スケジュールの提出について ・平成31年度全国学力・学習状況調査結果の活用について ・令和元年度学校職員人事評価制度の実施について ・各学校における令和2年度人事体制について ・8月の学校経営報告書の交流について
R元. 10. 29 (第8回)	<ul style="list-style-type: none"> ・12月期における勤勉手当の給与決定手続きについて ・令和2年度当初人事異動に係る教育長面接の実施について ・「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」について ・学校事務職員等に係る「時間外労働及び休日等勤務に関する協定(36協定)」について ・令和2年度教職員辞令交付式について ・9月の学校経営報告書の交流について
R元. 11. 25 (第9回)	<ul style="list-style-type: none"> ・12月期における勤勉手当の給与決定手続きについて ・令和元年度大空町教育委員会学校訪問実施要領(案)について ・冬季休業に向けての児童生徒の指導等について ・人事評価に係る期末・期首面談について ・10月の学校経営報告書の交流について
R元. 12. 26 (第10回)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年1月1日昇給における給与決定手続きについて ・教職員の服務規律の保持について ・インフルエンザ等の感染予防の徹底と適時・的確な対応について ・11月の学校経営報告書の交流について
R 2. 1. 17 (第11回)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回オホーツク管内市町村教育委員会教育長会議におけるオホーツク教育局からの指示事項等について ・令和2年度全国学力・学習状況調査の実施について ・令和2年度学校職員人事評価制度の実施について ・12月の学校経営報告書の交流について

R 2. 2. 19 (第12回)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度学校職員人事評価制度に係る教育長期末面談について ・令和元年度卒業（卒園）式の日程等について ・令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について ・年度末各種報告書等の提出について ・令和2年度学校評議員の推薦について ・令和2年度学校運営協議会委員の推薦について ・1月の学校経営報告書の交流について
R 2. 3. 23 (第13回)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度教職員等人事について ・市町村立学校職員の異動等に伴う人事評価の引継について ・主任等の命課状況の報告について ・令和2年度大空町教育推進方針（案）について ・令和2年度大空町学びの推進月間（大空町学力・体力向上プラン）（案）について ・大空町学力向上プラン（案）について ・令和2年度全国学力・学習状況調査について ・転出入に伴う挨拶回りの取扱いについて ・令和2年度入学（入園）式の日程について ・修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について ・学校職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について ・2月の学校経営報告書の交流について

7 町民に対する情報提供

町民の公益に係る情報や教育委員会の活動に対する理解の促進及び学習情報の提供等に資するため、以下の情報提供を行っている。

(1) 情報の提供

情報誌等関係	掲載内容
広報『おおぞら』及び『まちのおしらせ』への掲載	広報『おおぞら』に生涯学習情報「はばたき」欄、『まちのおしらせ』に掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・各種学校教育支援制度等の情報 ・各種社会教育事業の情報 ・大空町B&G海洋センターの情報 ・マラソン大会の案内 ・社会教育関係団体の情報 ・大空町図書館の情報 ・大空町内高等学校の情報 ・幼稚園児の募集 ・奨学生の募集 ・文化公演の案内 ・町民文化祭の案内 ・各種募集案内 ・小学校入学児童の紹介 ・幼稚園教諭(嘱託を含む)の募集 など
町ホームページへの掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次大空町教育推進計画 ・大空町図書館第3期5ケ年計画 ・大空町第3次子どもの読書活動推進計画 ・平成31年度全国学力・学習状況調査結果 ・令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 ・大空町いじめ防止基本方針
学校ホームページへの掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高等学校の教育活動

(2) 図書館閲覧

令和元年度大空町教育経営計画書『大空町の教育』（9月発行）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度大空町教育推進の概要（教育推進方針、主な教育予算及び事業、事務局の組織図及び事務分掌 など） ・令和元年度大空町社会教育推進計画 ・各幼稚園及び各小中高等学校の学校経営の概要 ・生涯学習、スポーツ施設利用案内 ・大空町の教育の歩み ・大空町の各種委員・教育関係団体・施設 など
-------------------------------	---

(3) 郷土資料館閲覧

女満別地区郷土資料台帳	<ul style="list-style-type: none"> ・女満別郷土資料館に保存・展示されている物品についての写真と説明文を掲載
東藻琴地区郷土資料台帳	<ul style="list-style-type: none"> ・東藻琴ふるさと資料館に保存・展示されている物品についての写真と説明文を掲載
大空町郷土資料台帳	<ul style="list-style-type: none"> ・女満別地区郷土資料台帳と東藻琴地区郷土資料台帳に掲載されている物品の内から重複しているものを除き、全町分を1冊にまとめて掲載

8 令和元年度教育関係予算の最終状況

令和元年度教育関係の最終予算は、1,657,415千円で、前年度から23.0% (310百万円)の増となっている。

主な要因は、認定こども園整備事業に伴う児童福祉施設費が313百万円の増などによるものである。

(千円)

項 及 び 目	予 算 額	項 及 び 目	予 算 額
【民生費】	407,245	5 幼稚園費	67,999
2 児童福祉費	407,245	(1) 幼稚園費	67,999
(1) 児童福祉総務費	78	6 社会教育費	184,165
(2) 児童措置費	1,815	(1) 社会教育総務費	71,690
(3) 保育所費	46,689	(2) 青少年教育費	6,278
(4) 児童福祉施設費	358,663	(3) 芸術文化振興費	2,492
【農林水産業費】	11,350	(4) 図書館費	55,003
1 農業費	11,350	(5) 社会教育施設費	48,702
(3) 農業振興費	11,350	7 保健体育費	212,442
【教育費】	1,238,820	(1) 保健体育総務費	7,479
1 教育総務費	95,196	(2) 体育施設費	81,484
(1) 教育委員会費	1,576	(3) 給食センター費	123,479
(2) 事務局費	83,652		
(3) 奨学金	1,801		
(4) 教員住宅費	1,374		
(5) 国際教育推進費	6,793		
2 小学校費	77,818		
(1) 学校管理費	49,554		
(2) 教育振興費	28,264		
3 中学校費	508,859	計	1,657,415
(1) 学校管理費	389,656		
(2) 教育振興費	19,621		
(3) スクールバス運行費	99,582		
4 高等学校費	92,341		
(1) 定時制高等学校管理費	23,993		
(2) 教育振興費	35,521		
(3) 高等学校実習費	20,900		
(4) 寄宿舎費	11,927		

9 令和元年度教育関係予算の主な事業に係る最終予算

事業名	事業費(千円)	主な事業内容
児童福祉費		
◇児童福祉総務費	78	・青少年問題協議会委員報酬
◇広域入所事業	1,815	・他市町村保育所への入所委託
◇豊住保育園管理運営事業	31,802	・保育園管理運営費 ・多子世帯保育料の軽減
◇東藻琴保育園管理運営事業	14,707	・保育園管理運営費 ・多子世帯保育料の軽減
◇託児通所助成事業	180	・託児通所への一部助成
◇認定こども園整備事業	358,663	・女満別認定こども園整備費補助
農業費		
◇農村環境改善センター管理事業	11,350	・農村環境改善センター管理運営費(指定管理)
教育総務費		
◇教育委員会費	1,576	・教育委員の活動
◇事務局費	83,652	・補助教諭の配置 ・網走東学区高等学校等への通学費等の経費助成 ・中体連等への参加経費補助 ・女満別高等学校振興協議会活動への補助 ・地域コーディネーター、教育相談員、学校図書館司書の配置 ・芸術文化鑑賞、ファームスクールの実施 ・高等学校制服購入費補助 ・女満別高等学校生徒寄宿舎管理運営 ・学校教育研究会への補助 ・学校教育施設建設基金積立金 ・子ども未来づくり教育基金積立金
◇奨学金貸付等事業	1,801	・経済的に就学困難な者への奨学金貸付 ・入学資金利子等への助成 ・多子世帯の高校・大学等進学への支援金支給
◇教員住宅費	1,374	・教員住宅管理費
◇国際教育指針費	6,793	・語学指導外国青年の招致
小学校費		
◇女満別小学校管理運営事業	30,957	・小学校管理運営費
◇東藻琴小学校管理運営事業	18,597	・小学校管理運営費
◇小学校教育振興事業	23,604	・要保護・準要保護世帯及び特別支援教育を要する児童世帯への就学援助 ・英語活動の推進 ・副読本改訂 ・学校給食費への補助(無償化)

◇女満別小学校教育振興事業	2,901	・教科用、実験実習用教材文具等の整備
◇東藻琴小学校教育振興事業	1,759	・教科用、実験実習用教材文具等の整備
中学校費		
◇女満別中学校管理運営事業	28,869	・中学校管理運営費
◇東藻琴中学校管理運営事業	14,727	・中学校管理運営費
◇女満別中学校大規模改修事業	346,060	・大規模改修（第Ⅱ期）工事
◇中学校教育振興事業	14,054	・要保護・準要保護世帯及び特別支援教育を要する生徒世帯への就学援助 ・学校給食費への補助（無償化）
◇女満別中学校教育振興事業	3,836	・教科用、実験実習用教材文具等の整備
◇東藻琴中学校教育振興事業	1,731	・教科用、実験実習用教材文具等の整備
◇スクールバス運行事業	99,582	・スクールバス運営費 ・スクールバス1台購入
高等学校費		
◇東藻琴高等学校管理運営事業	23,993	・高等学校管理運営費
◇東藻琴高等学校教育振興事業	35,521	・研修活動補助費 ・高校教育振興基金積立金 ・新しい高校づくり ・高校魅力化推進
◇東藻琴高等学校実習事業	20,900	・実習運営費
◇東藻琴高等学校寄宿舎管理事業	11,927	・寄宿舎管理運営費
幼稚園費		
◇女満別幼稚園管理運営事業	44,567	・幼稚園管理運営経費 ・多子世帯保育料の軽減
◇東藻琴幼稚園管理運営事業	23,432	・幼稚園管理運営経費 ・多子世帯保育料の軽減
社会教育費		
◇社会教育総務事業	71,690	・大空町青少年育成協会への補助（事業実施等） ・社会教育委員の活動 ・子育て支援活動 ・成人式の開催 ・生涯学習の推進 ・教育文化合宿補助 ・女性教育振興 ・高齢者教育振興 ・旧豊住小学校維持管理費
◇青少年教育事業	6,278	・青少年各種研修会への参加 ・子ども会活動及び少年教育活動への補助 ・子ども放課後週末活動支援 ・稲城市及び氷川町との教育交流 ・青年団体協議会活動への支援 ・青年団体連携会議への支援

		・青少年健全育成指導員の活動
◇芸術文化振興事業	2, 492	・町民文化祭（文化展及び芸能祭）への活動支援 ・文化団体協議会への活動支援 ・文化財保全活動 ・文化財保護審議会委員の活動
◇図書館事業	55, 003	・図書館管理運営費（指定管理） ・図書館運営協議会委員の活動
◇社会教育施設事業	48, 702	・研修会館管理運営費（指定管理） ・伝承館管理運営費（指定管理） ・生涯学習センター管理運営費 ・ふるさと資料館管理費 ・山園ふるさとセンター管理費
保健体育費		
◇保健体育総務事業	7, 479	・スポーツ推進委員報酬 ・町民スポーツ大会・スポーツ教室の開催 ・スポーツ活動振興 ・スポーツ協会への活動支援 ・スポーツ少年団への活動支援 ・マラソン大会実行委員会への活動支援 ・スポーツ大会等への参加経費補助 ・総合型地域スポーツクラブ支援
◇体育施設事業	81, 484	・体育施設一般管理費 ・武道館管理費 ・屋外ゲートボール場管理費 ・艇庫管理費 ・すぱーく東藻琴管理費 ・スキー場管理費 ・多目的運動広場管理費 ・ゲートボールセンター管理費（指定管理） ・B&G海洋センター管理費（指定管理） ・東藻琴相撲場管理費
◇給食センター管理運営事業	123, 479	・女満別学校給食センター管理運営費 ・東藻琴学校給食センター管理運営費 ・学校給食運営委員報酬

第2部 学校教育活動に係る反省・評価

1 令和元年度大空町教育推進方針に係る反省・評価

- ◇令和元年度大空町教育推進方針（学校教育関係分）は、「第2次大空町教育推進計画（令和元～5年度）」の実現を目指すべく、計画内容を具体的・重点化して設定したものである。
- ◇大空町教育推進方針の末尾の括弧内に、「第2次大空町教育推進計画」に示されている基本目標、施策項目の数字を記し、それとの関わりを明らかにしてある。

5段階評定尺度

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 5（大変よかった） | 所期の目的に向けた創意工夫や努力があり、成果を上げた。 |
| 4（よかった） | 若干問題はあったが、所期の目的に向けた実績となった。 |
| 3（普通） | 実施はできたが、問題・課題がある。 |
| 2（工夫が必要） | 所期の目的に一部そった形で実施はできたが問題・課題がある。 |
| 1（改善が必要） | 所期の目的には至らず、今後一層の解決や改善努力がいる。 |

※下の表中の【 】及び（ ）内の数値は5段階の評定尺度に基づき、各幼稚園、各小中高等学校が実施した評価点の平均値である。

令和元年度大空町教育推進方針の反省・評価（学校教育関係分）

1 未来を拓き 生きる力を育てる教育の推進

（基本目標1～施策項目1～7）

【3.86】

〈具体的方策〉

- （1）学校全体での共通理解の下、学習規律を確立し、取組を徹底する。（項目1）（4.17）
〈評価〉・学力の基盤となる学習規律の徹底について、すべての教育活動で取り組まれている。
- （2）家庭学習・宿題の内容や分量について、学校全体で共通理解を図り、発達段階を踏まえて系統的な指導を行い、家庭と共に取組状況を評価する。（項目1）（3.67）
〈評価〉・児童生徒の実態に応じた学習指導の充実が進められている。
・家庭学習習慣づくりのための家庭との連携・協力体制の強化に努めている。
- （3）子どもの健やかな育成のため、就学に関わる経済的な支援に努める。（項目1）（4.00）
〈評価〉・大空町奨学金貸付、大空町要保護及び準要保護児童生徒等就学援助などを活用し、就学に関わる支援に努めている。
- （4）全教職員による検証改善サイクルを確立し、学校が一体となった学力向上の取組を推進する。（項目1）（3.83）
〈評価〉・学力テスト、体力テスト等の分析結果に基づいた改善策を明らかにし、学校全体で取組を進めている。
- （5）課題（めあて）・まとめを提示し、見通す・振り返る活動、自分の考えを発表したりグループで話し合ったりする活動、書くことを取り入れた活動等を通して批判的思考力を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する。（項目1,2）（3.50）

- 〈評価〉・課題、まとめの提示、振り返り活動の実施が定着してきている。
- ・ペアワークやグループ活動を取り入れ、児童生徒が主体的・対話的に学習できるように努めている。
 - ・ゴールを明確にした授業づくりを推進していく必要がある。
- (6) 分かる授業の実現に向け、実物投影機やタブレット等のICTを効果的に活用するとともに、教職員のICT活用及び指導力の向上を図る。(項目1,5) (3.67)
- 〈評価〉・ICT機器(実物投影機・タブレット)を積極的に活用した授業が実施されている。更にICTの効果的な活用についての研修が必要である。
- (7) 「校内研修プログラム」や「実践事例集」等を活用した校内研修に取り組み、教職員の特別支援教育の理解を深めるとともに、推進体制を強化する。(項目3) (3.67)
- 〈評価〉・特別支援教育の質的改善に全校(園)体制で取り組まれている。
- ・校(園)内支援委員会や指導主事、教育相談員の指導などを通して、支援の必要な幼児児童生徒への共通理解が図られている。
- (8) 巡回教育相談員や養護学校等の教員派遣を通じ、幼小中高における特別支援教育の充実に向けた取組を推進する。(項目3) (3.86)
- 〈評価〉・教育相談員や担当教師が家庭、学校及び地域の関係諸機関と連携を図り、実態に応じた適切な指導や支援につなげ、充実した教育活動が展開されている。
- (9) 小学校における外国語教育の充実のため、校内の指導体制を確立する。(項目4) (4.00)
- 〈評価〉・新学習指導要領の完全実施に向け、指導主事の指導のもと発達段階や幼小中のつながりを意識した両地区共通のカリキュラムを作成した。
- ・5, 6年の教科化に対応した評価基準表(ルーブリック)を作成し、その活用についての研修を行った。
- (10) 中学校において、小学校外国語の内容を踏まえて授業改善を図るとともに、CAN-DOリストの活用により学習到達目標の達成状況を把握する。(項目4) (4.50)
- 〈評価〉・英語教諭の小学校への乗り入れ授業や積極的な交流授業により、授業改善が進んでいる。
- ・町内で統一したCAN-DOリストを作成し、活用している。
- (11) 校内研修等を通して、プログラミング教育の理解を図るとともに、プログラミング的思考を育む学習活動を教育課程に位置付け、推進のための指導体制を整備する。(項目5) (3.50)
- 〈評価〉・プログラミング教育に関する実技研修会を実施した。
- ・ICTの環境の整備に合わせ、指導体制の強化が必要である。
- (12) 地域と家庭が連携し、インターネット社会における各種の課題改善に向けた取組を推進する。(項目5,13) (4.00)
- 〈評価〉・インターネット利用に関するトラブルについて講習会を開催するなど、児童生徒だけでなく、家庭への理解に努めている。
- ・今後は、オンラインでの授業実現に向けての準備が必要である。
- (13) 各校種におけるキャリア教育の学習内容を踏まえ、学ぶこと・働くことの意義を意識して学習の見通しを立てたり、振り返ったりできる学習活動を推進する。(項目6) (3.83)
- 〈評価〉・プロジェクト学習や地域探究の時間により課題解決に取り組む態度が育成されている。

- (14) 体験的・問題解決的な学習により、産業界関係者や生徒同士の対話や協議を通して、生徒が自ら考えを広げたり深めたりする学習活動を推進する。(項目 7, 9) (4.00)
 〈評価〉・地域の自然や文化などを教育活動に取り入れ、体験を通して学ぶことができるよう工夫されている。
- (15) 地域や産業界、企業や大学等と連携した取組の充実を図る。(項目 7) (3.67)
 〈評価〉・yahoo連携授業や地域探求的な活動など生徒が興味関心を持つ授業にも積極的に取り組んでいる。
 ・インターンシップ等を通じ、自分の進路に対する意識付けがされてきている。

2 学びをひろげる豊かな心と健やかな体の育成

(基本目標 2 ～ 施策項目 8～16)

【3.72】

〈具体的方策〉

- (1) 児童生徒の道徳性を養う「考え、議論する道徳」の実現に向け、問題解決的な学習や体験的な学習等を取り入れた授業づくり、教科用図書を効果的に活用した授業づくりなど、指導方法の工夫改善を図る校内研修を実施する。(項目 5, 8, 13) (3.50)
 〈評価〉・遊びを通し、友だちとの関係づくりや協力することの大切さを学んでいる。
 ・「考え、議論する道徳」の実現に向け、校内研修を実施しながら充実を図っている。
- (2) 「ありがとう」「こんにちは」など、自分から挨拶できる子どもを育てる。(項目 8) (4.43)
 〈評価〉・挨拶の良さがけじめを生み、生活全般に波及している。
- (3) 幼小中高の教育課程にふるさとを学ぶ学習を位置付け、系統性を踏まえた学習活動を推進する。(項目 6, 9, 11) (3.71)
 〈評価〉・農業教育を活かした幼小中高校との異校種間交流学习に取り組んでいる。
- (4) 小学生向け社会科副読本の改訂を進める。(項目 9) (3.50)
 〈評価〉・指導主事が中心となり、両校の教員と連携しながら改訂を行った。
- (5) 町の図書館と連携して読書活動の充実を図り、「朝読」「家読」運動を推進し、望ましい読書習慣の定着を図る。(項目 10) (3.57)
 〈評価〉・図書館司書の巡回により、全ての学校で図書室の環境改善ができた。
 ・児童生徒の読書相談にも応じてくれるため、貸し出し図書は、大幅に増加した。
- (6) 各種体験活動のねらいや意義を明確にし、教育課程に適切に位置付け、各教科との関連を図りながら、学校の教育活動全体を通じた取組を推進する。(項目 9, 11) (4.00)
 〈評価〉・教科のねらいに合った活動になるよう、教育課程の見直しを行っている。
- (7) 学習の基盤としての各教科等の言語活動の充実を図るとともに、コミュニケーション能力を高める学習活動を推進する。(項目 1, 4, 8, 9, 12) (3.67)
 〈評価〉・各教科の様々な場面において、コミュニケーション能力の育成につながる取組がなされているが、相手の話を聞く(聴く)力をさらに高める必要がある。
- (8) 子ども理解支援ツール「ほっと」や「Q-U」、「アセス」等を活用して、いじめ・不登校の早期発見・早期対応に向け、関係機関と連携した取組を推進する。(項目 8, 13) (3.83)
 〈評価〉・日常の様子や保護者との連携の中で、いじめや不登校の早期発見・早期対応に努めるとともに、教育相談員等の関係機関とも連携を図っている。

(9) ネット上のいじめなど、インターネット上のトラブルから児童生徒を守る取組を推進する。(項目 5, 8, 13) (4.00)

〈評価〉・いじめの問題について、職員の対応力が向上している。

- ・困り感を抱えている子どもたちの安心できる居場所が確保できつつある。
- ・生徒指導部を中心とした問題行動の早期発見及び早期解決に努めている。

(10) 新体力テスト等の結果の分析を踏まえた、体育・保健体育の授業改善に取り組むなど、検証改善サイクルを確立する。(項目 14) (3.67)

〈評価〉・児童生徒の正確な実態把握のため、調査の実施時期等を検討する必要がある。

(11) 学校における体力向上の取組として「縄とび運動」を推進するとともに、家庭での運動を奨励するなどして、子どもの体力・運動能力の向上を図る。

(項目 14) (3.60)

〈評価〉・縄跳びを通じた、運動習慣の基礎づくりが行われている。

- ・オールオホーツクで出されている、運動プログラムの効果的な活用を推進する。

(12) 食に関する指導の充実が図られるよう、栄養教諭を中心に全教職員が連携・協力した食育推進体制を整備するとともに、食育の理解を深める校内研修を推進する。

(項目 15) (3.57)

〈評価〉・J A青年部の協力により、食育体験活動が行われている。

- ・栄養教諭との連携を深め、授業を通じた食育指導の充実に努めている。

(13) 学校・家庭・地域と連携して「早寝・早起き・朝ごはん」や「ノーゲームデー」など、子どもの基本的な生活習慣(生活リズム)の確立を図る。

(項目 16, 18) (3.29)

〈評価〉・基本的な生活習慣及び望ましい生活リズムの確立に課題がある。

- ・今後も学校通信等を通じて情報発信を行い、家庭とのコミュニケーションを図る。

3 学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進

(基本目標 3 ～ 施策項目 17～19)

【3.70】

〈具体的方策〉

(1) 幼稚園教育における遊びの充実、自然体験や異年齢・多世代交流などの体験活動の充実を図る。(項目 17) (4.50)

〈評価〉・野菜作り、ウサギの飼育、そば打ち、餅つき等、年間を通して異年齢・多世代との交流学習に取り組み、様々な体験を通して学びを深めている。

(2) 家庭教育への支援や幼児教育の充実を図るため、幼保連携型認定子ども園の新設に向けた取組を推進する。(項目 17, 18) (4.00)

〈評価〉・「大空町認定こども園めまんべつ」の令和2年10月開園に向け、実施運営主体と協議・連携のもと準備に取り組んでいる。

(3) 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて、「スタートカリキュラム」の編成や教育内容の相互理解につながる交流会・研修会を推進する。(項目 17, 20) (3.00)

〈評価〉・幼小接続に関する担当者会議が開催され、新しい環境づくりがスタートしている。

- ・スタートカリキュラムが作成され、それに基づいた教育活動が始まっている。

(4) 生活リズムチェックシート等を活用して、子どもの家庭での生活実態を把握し、望ましい生活習慣の定着を図る。(項目 1, 18) (3.50)

〈評価〉・生活リズムチェックシートの活用により、家庭生活における規律化に向け、少しずつ改善がみられている。

・長期休業期間には歯磨き、カレンダー等で生活リズムが身につくよう幼稚園でも働きかけている。

(5) 教育活動に対する保護者や住民の理解及び積極的な参画を促すため、学校ホームページの開設に向けた取組を推進する。(項目 19) (3.14)

〈評価〉・全ての町立学校のホームページを作成することができ、各学校の子ども達や教育活動の様子が配信されている。

(6) 幅広い地域住民等が学校経営に参画し、学校と地域が力を合わせて児童生徒の成長を支えるコミュニティ・スクールの次年度導入に向けて研究と準備を推進する。(項目 19) (3.60)

〈評価〉・令和2年度のコミュニティ・スクールの導入に向け、調査研究を実施し、準備を進めることができた。

・教育活動に対する保護者や住民の理解及び積極的な参画を促し、幅広く地域住民等が学校経営に参画いただける環境づくりが必要である。

(7) 学校と地域が一体となって児童生徒の成長を支えることができるよう、全ての学校で経営方針を分かりやすく示す「グランドデザイン」を作成・公表する。(項目 19) (4.17)

〈評価〉・町立の全ての学校でグランドデザインが作成され、それぞれの学校で明確になった経営方針に沿って教育活動が展開されている。

4 学びをつなぐ学校づくりの実現

(基本目標4 ～ 施策項目20～25)

[3.65]

〈具体的方策〉

(1) 幼小接続、小中一貫、中高連携へと進展する取組を推進するとともに、学びの系統性・連続性を踏まえた、円滑な連携・接続の在り方などの研究を推進する。

(項目 20) (3.43)

〈評価〉・幼児、児童、生徒の交流だけでなく、小中連携授業や中高連携授業の実施など、教職員同士の交流も進んできた。

・教科だけでなく、ICTの活用に関する研修、交流も進めたい。

(2) 異校種間交流及び同種校間交流を推進する。(項目 20) (4.00)

〈評価〉・幼小中高の連携が活発に行われ、校種間が円滑に接続されている。その分それぞれの校種できめ細かな指導が行われ、学習、生徒指導面で成果が出ている。

(3) 「共通・一貫・徹底・継続」した取組を基盤に、チーム学校としての包括的な学校改善を推進する。(項目 21) (3.86)

〈評価〉・公開授業や研究授業、情報共有などを通じて指導力の向上が図られている。

・教育相談員が幼稚園の普段の活動を参観するなど、交流機会が増加した。

・外国語で東藻琴、女満別両地区で共通のカリキュラム、指導案による授業が展開されている。

・中学教諭の乗り入れ授業の継続により、生徒理解が進み、指導に活かされている。

- (4) 教職員の服務規律の保持のため、不祥事防止に向けた集中的な取組や年間を通じた反復継続的な取組を推進する。(項目21) (3.86)
 〈評価〉・不祥事防止のため、継続的な取組が行われたが、交通違反等が発生する状況であり、校内研修など改善が必要である。
- (5) 大空町アクションプラン及び部活動の在り方に関する方針を踏まえ、学校教育の質を高める環境を構築し、学校における働き方改革を推進する。(項目21) (3.83)
 〈評価〉・管理職による働き方改革に向けての取組がなされ、教職員の時間外勤務は、減少してきている。更なる環境整備や意識改革を行う必要がある。
- (6) 学校安全の3領域(生活・交通・災害)に関する内容を適切に位置付けた安全教育を推進するとともに、児童生徒や地域等の実態を踏まえて、危機管理マニュアルの見直しを図る。(項目22) (3.86)
 〈評価〉・各校において、特色を持たせた防災教育が推進されてきている。
 ・危機管理体制の1つとして、職員、保護者、生徒に全体・個別に緊急一斉メールの発信ができる環境整備に取り組むことができた。
 ・近年の発生状況に鑑み、危機管理マニュアルの見直しを図ることができた。
- (7) 大空町学校教育研究会の活動の充実を図るとともに、授業交流を通して開かれた研修を推進する。(項目23) (3.57)
 〈評価〉・部会による授業交流により、幼稚園から高校までの発達段階に応じた指導の実態や授業改善の方法を学ぶ取組が行われている。校種間の円滑な接続にも効果的である。
- (8) 若手教員の学級経営力や授業力の向上を図る研修会を実施する。(項目23) (3.71)
 〈評価〉・研修部を中心に若手教員への指導が各校で進められている。
 ・外国語の実技研修会には、多くの若手教員が参加し、積極的に学んだ。
- (9) 認定こども園の新設及び高校の環境整備への取組を推進する。(項目24) (4.33)
 〈評価〉・認定こども園の設置運営主体との連携や新しい高校づくりの協議組織における検討を行うなど、開設に向けた準備を進めている。
- (10) 次世代に向けた教育の情報化に対応するため、国内ポータルサイトとの連携や公設塾の設置など、「新たな教育の場」づくりの検討を進める。(項目25) (2.00)
 〈評価〉・学校教育のICT化の検討を進め、新しい高校づくりに先駆けて公設塾を開設した。
 ・各学校、家庭でICTの利用をスムーズに進めるためにも、インターネット環境やPC(タブレット)とそれを効果的に活用するための周辺機器の整備が必要である。

2 各幼稚園・各小中高等学校における反省・評価

各幼稚園、各小中高等学校における教育活動は、それぞれの園や学校で策定している学校(幼稚園)経営計画及び教育課程に基づき展開されている。

また、各幼稚園、各小中高等学校においては、年度末に「大空町学校評価システム」に基づいた学校評価(教職員による評価、児童生徒による評価、保護者等学校関係者による評価)を実施し、その結果に基づき次年度に向けた改善がなされている。

各幼稚園、各小中高等学校からは、年度末に学校評価結果が報告書として提出されているので、ここでの報告は割愛する。

第3部 社会教育活動に係る反省・評価

1 令和元年度大空町教育推進方針に係る反省・評価

◇令和元年度大空町教育推進方針（社会教育関係分）は、「第2次大空町教育推進計画（令和元～5年度）」の実現を目指すべく、計画内容を具体的・重点化して設定したものである。

◇大空町教育推進方針の末尾の括弧内に、「第2次大空町教育推進計画」に示されている基本目標、施策項目の数字を記し、それとの関わりを明らかにしてある。

5段階評定尺度

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 5（大変よかった） | 所期の目的に向けた創意工夫や努力があり、成果を上げた。 |
| 4（よかった） | 若干問題はあったが、所期の目的に向けた実績となった。 |
| 3（普通） | 実施はできたが、問題・課題がある。 |
| 2（工夫が必要） | 所期の目的に一部そった形で実施はできたが問題・課題がある。 |
| 1（改善が必要） | 所期の目的には至らず、今後一層の解決や改善努力がいる。 |

※下の表中の【 】及び（ ）内の数値は、5段階の評定尺度に基づき実施した評価点の平均値である。

令和元年度大空町教育推進方針の反省・評価（社会教育関係分）

- 1 未来を拓き 生きる力を育てる教育の推進
（基本目標1～施策項目3・5・6） 【3.46】
〈具体的方策〉
- （1）福祉部局と連携を深め、家庭教育支援講座などで情報の提供を図る。（項目3） (3.33)
〈評価〉・北海道の事業指定を受け、家庭教育ナビゲーターの養成講座及びスキルアップ研修を実施し、子育てに関する情報を提供することができた。
- （2）大空町青少年健全育成町民会議を中核として関係組織間の連携融合を図り、子どもを見守る環境づくりに努める。（項目3） (3.00)
〈評価〉・町イベント時の合同補導活動、新入学時の交通安全街頭指導、地域防犯マップの児童生徒への配布により、学校や地域で子どもを守る体制づくりが図られた。
- （3）青少年問題協議会を開催し、子どもたちを情報社会から守るため関係機関との情報共有を図る。（項目5） (3.50)
〈評価〉・インターネット被害（いじめ・SNS・薬物）などについて関係機関と情報提供や意見交換を実施し、地域で子どもを守る体制づくりが図られた。
・青少年顕彰式を開催し、青少年の善行に対し表彰を行い、健全育成意識を高めることができた。
- （4）体験活動支援施設を活用し、リーダー養成を図り生きる力を育む。（項目6） (4.00)

〈評価〉・子ども会育成連絡協議会と協働し、地域のジュニアリーダー養成を図るため、子どもの主体性を育むことを目的とし、初めての試みとして「おもしろ科学の祭典 in 大空」を実施し、リーダーとしての資質の向上が図られた。

2 学びをひろげる豊かな心と健やかな体の育成

(基本目標2 ～ 施策項目9～11)

【3.63】

〈具体的方策〉

(1) 姉妹都市稲城市と友好町氷川町の児童生徒の交流事業を推進し、異文化を体験しふるさとを愛する心を醸成する。(項目9) (4.00)

〈評価〉・稲城市児童交流・氷川町生徒交流事業により、姉妹都市・友好町との相互交流が図られ、異なる風土や文化に触れることで、見聞を広めることができ、ふるさとを愛する心を育むことができた。

(2) 子どもワールド21やことぶき大学による児童生徒との交流を促進し、感性豊かな子どもたちを育む。(項目9) (3.50)

〈評価〉・子どもワールド21での異年齢集団による活動やことぶき大学との昔遊びによる交流により、世代間の交流が図られた。

(3) 読書活動及び図書館活動を推進するための学校と図書館の連携を強化し、子どもの読書活動推進計画、大空町図書館計画の推進を図る。(項目10) (3.50)

〈評価〉・学校連携ネットワークシステムにより学校図書館と公共図書館の連携が図られている。

・学校図書館の資質向上のため実施をしている学校図書館協会研修会に、公共図書館司書が参加し、情報提供や活動支援に努めている。

(4) 放課後子どもプラン推進事業や網走川流域の会事業により貴重な体験を通じて豊かな感性を育む。(項目11) (3.50)

〈評価〉・放課後子どもプラン推進事業により、「放課後児童クラブ」と「子どもワールド21」の連携が図られ、創作・運動・伝統体験活動等本物体験を地域の指導者から学ぶことで、豊かな感性を育むことができた。

・網走川流域の会事業により、地域の豊かな自然環境や産業の問題について知ることができた。

3 学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進

(基本目標3 ～ 施策項目18～19)

【3.50】

〈具体的方策〉

(1) 家庭や地域の教育力の向上を目指し事業の充実を図る。(項目18) (3.00)

〈評価〉・幼稚園開放事業や子育てに関する相談業務のため、社会教育コーディネーターを配置し、子育てに関するアドバイスをを行った。

(2) 子どもたちの様々な体験や交流機会を充実し、自ら考え行動する力の育成と同世代・異世代、多文化交流の推進に努める。(項目19) (4.00)

〈評価〉・長期休業中の補充学習サポート事業(朝活サマースクール、ウィンタースクール)を実施し、望ましい生活習慣の習得に努めた。

(3) 子どもたちが安心して活動できる環境づくりのため、社会教育事業の指導者やボランティア体制の充実を図る。(項目 19) **(3.50)**

〈評価〉・家庭教育ナビゲーター養成講座や大空町検定により地域指導者を養成するために準備を進めている。今後社会教育事業において活用を検討する。

(4) 親子でのスポーツ・レクリエーション体験活動を展開し、親子の絆を深め子どもの体力向上に努める。(項目 18) **(3.50)**

〈評価〉・ニュースポーツ教室を両地区で実施し、親子間の交流、スポーツに親しむ場の提供が図れた。

・スポーツ縁日を開催。今後もスポーツ推進委員会で種目を選定しながら取り進めていきたい。

4 学びをつなぐ学校づくりの実現

(基本目標 4 ～ 施策項目 2 2)

[3.25]

〈具体的方策〉

(1) 大空町青少年健全育成町民会議を中核として関係組織間の連携融合を図り、子どもを見守る環境づくりに努める。(項目 3) **(3.00)**

〈評価〉・町イベント時の合同補導活動、新入学時の交通安全街頭指導、地域防犯マップの児童生徒への配布により、学校や地域で子どもを守る体制づくりが図られた。

(2) 大空町青少年問題協議会を開催し、子どもたちを情報社会から守るため関係機関との情報共有を図る。(項目 5) **(3.50)**

〈評価〉・インターネット被害(いじめ・SNS・薬物)などについて関係機関と情報提供や意見交換を実施し、地域で子どもを守る体制づくりが図られた。

・青少年顕彰式を開催し、青少年の善行に対し表彰を行い、健全育成意識を高めることができた。

5 学びを活かす地域社会の実現

(基本目標 5 ～ 施策項目 2 6・2 8～3 1)

[3.41]

〈具体的方策〉

(1) 多様な学習ニーズや社会教育事業に対する意見・要望等を把握し、町民の主体的な学習活動の奨励や求められる生涯学習事業の推進を図る。(項目 26) **(3.75)**

〈評価〉・生涯学習奨励員が主体となり、町民の学習要求を把握しながら両地区の融合を図るための生涯学習講演会(町民大学)を行った。

・発行から5年が経過したことから、生涯学習奨励員と教育委員会が連携し、「大空マニアック」(第二版)を発行することができた。

・教養や能力の習得のほか、出会いや交流の場として高齢者大学を実施し、文化の継承や生きがいづくりにつながる事業を進めている。

(2) 文化団体や生涯学習実践者等と連携を図り、総合型芸能文化倶楽部の活動内容を充実させ、生涯学習プログラムの充実を図る。(項目 28) **(3.00)**

〈評価〉・文化団体協議会と連携して総合型芸能文化倶楽部講座を実施し、文化的な活動に触れる機会の創出に努めた。

- (3) 郷土の歴史や文化等を後世に遺すために、郷土資料の展示方法について検討するほか、継続して文化財の保護・保全の取組を進めるとともに、町民が主体となる伝承事業や歴史・文化に関する団体等の活動を支援する。(項目 29) (3.50)
- 〈評価〉・東藻琴生涯学習センターに郷土資料を展示するための準備を進めることができた。
- ・大空町の歴史・文化資料の収集及び保管、活用における文化財指定要綱及び文化財指定基準について整備した。
 - ・湿生植物群落保護・保全対策のため、水芭蕉の原因解明のため引き続き、地下水水位計を設置し調査を行った。
- (4) 読書活動及び図書館活動を推進するための学校と図書館の連携を強化し、図書館内の設備を充実し、親しまれる読書環境づくりに努める。(項目 31) (3.75)
- 〈評価〉・女満別図書館にブックポストを設置し、読書環境の整備を行うことができた。
- ・指定管理者の自主事業により、図書館の利用促進につながる事業を数多く実施に努めた。
- (5) 町民が主体となった芸術・文化活動を支援し、大空町青少年育成協会と連携を図り優れた芸術文化を体験できる機会の拡充に努める。(項目 28) (3.00)
- 〈評価〉・町民文化展により、文化に触れる機会の提供に努めている。町民芸能祭により、日頃の成果を発表できる機会の提供に努めている。
- ・大空町青少年育成協会により、様々な分野の演劇に関する事業を実施できた。
- (6) 町民が気軽にスポーツに親しみ、参加できる機会や場所を提供する。(項目 30) (3.67)
- 〈評価〉・各種スポーツ大会を開催し、町民のスポーツ活動の場を提供するとともに自治会交流の場とすることができた。
- ・300歳交歓バレーボール大会については、参加団体が固定化されてきている。女満別地区での開催(交互開催)の検討をしたい。
 - ・各種スポーツ教室やスポーツ縁日を開催。新しいスポーツの体験ができる場の提供が図れた。
- (7) 新規合宿の誘致を図り、優れたスポーツや文化を身近で体験できる環境を整備する。姉妹都市稲城市と友好町氷川町との芸術文化・スポーツを通じて友好を深めることを目的として、交流事業を推進する。(項目 30) (3.60)
- 〈評価〉・クリニックの開催により、受講者の技術力と指導技術(練習方法)の向上を図ることができた。
- (8) 社会教育施設、社会体育施設の適切な維持管理を行い、計画的な施設設備の整備を図り、施設の有効利用を促進する。(項目 31) (3.00)
- 〈評価〉・指定管理の受託者と連携を図り、適切な維持管理に努めた。
- ・職員が定期的に施設巡回を行い適切な維持管理に努めた。

2 令和元年度大空町社会教育推進計画に係る反省・評価

第2次大空町教育推進計画の具現化を目指して、令和元年度大空町社会教育推進計画を作成し、下記の枠内で示すように大きく7つの領域で、事業を推進している。

- | |
|----------------|
| 1 生涯学習の振興 |
| 2 家庭教育・子育て支援事業 |
| 3 青少年健全育成事業 |
| 4 芸術文化振興事業 |
| 5 読書活動の推進 |
| 6 保健体育振興事業 |
| 7 社会教育施設・設備の充実 |

◇本計画の位置づけ

第2次大空町教育推進計画に基づく、令和元年度に実施する各事業をA（目的やねらい）・P（計画）・D（実施）・S（評価）・I（改善）のマネジメントサイクルの段階ごとに体系的に区分し、事業推進の指標として位置づけている。

◇評価の活用

令和元年度の実績・評価の結果、明らかにされた改善点等を次年度の推進計画の策定に反映させる。

令和元年度社会教育事業の反省・評価結果の概要

1 生涯学習の振興 総合判定 《3. 56》

〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉

（施策項目26 生涯学習の振興）

（施策項目27 社会教育の振興）

1 成人教育 [町民の自主的な学習活動を支援する]	【3.25】
---------------------------	---------------

（1）生涯学習奨励員協議会事業（3.50）

①生涯学習講演会（4.00） ②マニアック問題の見直し（3.00）

《総括的な反省・評価》

①生涯学習奨励員が主体となり、両地区の融合を図るため生涯学習講演会（町民大学）を行った。引き続き、町民の学習要求を把握しながら事業企画、運営に取り組む必要がある。

②発行から5年が経過したことから、生涯学習奨励員と教育委員会が連携し「大空マニアック」（第二版）を発行した。今後も引き続き「大空マニアック」への関心と検定参加を促すためのPR方法の検討や検定者から地域指導者への活用を図る必要がある。

（2）成人式（3.00）

<p>《総括的な反省・評価》</p> <p>①記念式典・アトラクションを実施し、多くの成人に参加してもらった環境を提供した。町民としての誇りと、新成人としての誇りや自覚を醸成する必要がある。</p>	
2	<p>高齢者教育 [高齢者が自ら学び、心豊かで健康に過ごし、社会参加できる活動を支援する]</p> <p style="text-align: right;">【4.00】</p> <p>(1) 大空町ことぶき大学 (4.00)</p>
<p>《総括的な反省・評価》</p> <p>①教養や能力の習得のほか、出会いや交流の場として様々な活動を行い、文化の継承や生きがいづくりにつながる事業を実施できた。高齢者の取り巻く社会環境や高齢者福祉施策の在り方が大きく変化している中で、学習要望に即した内容で授業を行うことができた。また、広域事業のリーダー研修会が本町で開催され、コミュニケーションのスキルアップにつなげることができた。</p>	
3	<p>各種団体育成(事業) [各種団体の主体的な学習や積極的な地域活動を支援し育成する]</p> <p style="text-align: right;">【4.00】</p> <p>(1) 女性団体育成事業 (4.00)</p> <p style="padding-left: 20px;">①女性団体の支援 (4.00) ②大空町女性のつどい (4.00)</p> <p style="padding-left: 20px;">③友愛セール&フリーマーケット (4.00) ④大空町女性研修 (4.00)</p> <p>(2) P T A 育成事業 (4.00)</p> <p>(3) 教育文化合宿誘致事業 (4.00)</p>
<p>《総括的な反省・評価》</p> <p>①女性団体は様々な活動や研修事業を展開している。団体活動を広く周知する工夫と活性化を促す支援、引き続き学習活動における情報提供が必要である。</p> <p>②P T A 育成事業については、大空町P T A 連合会と連携しながら各学校P T A の活動を支援している。家庭教育の重要性が高まっていることから、個々の組織だけではなく連合会としての取り組みにより、各学校P T A との連携を深めていく必要がある。</p> <p>③教育文化合宿誘致事業については、玉川大学梅沢ゼミ、立正大学法務ゼミの本町での合宿受け入れを行い、交流人口の増加と質の高い技術や知識の普及など合宿成果が上がっている。また、女満別高校や町内小学校との連携事業により町民への還元などが実施された。</p>	
4	<p>生涯学習啓発(事業) [町民の学習意欲を喚起するため、情報発信と相談活動を充実する]</p> <p style="text-align: right;">【3.00】</p> <p>(1) 生涯学習関係情報周知 (3.00)</p> <p>(2) 生涯学習相談 (3.00)</p>
<p>《総括的な反省・評価》</p> <p>①生涯学習の広報については、毎月広報誌に掲載し、学習情報や各種団体活動の報告など情報提供に努めている。今後さらに読みやすい紙面づくりやHPによる情報の拡充を図る必要がある。</p> <p>②各種学習に関わる相談について、随時対応した。</p>	

2 家庭教育・子育て支援事業 総合判定《3.04》

〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉

(施策項目26 生涯学習の振興)

(施策項目27 社会教育の振興)

1 家庭教育・子育て支援(事業)〔行政、関係機関等が連携して、学習資源や情報のネットワーク化に努める〕 **【3.08】**

(1) 家庭教育支援基盤形成事業 (3.33)

①家庭教育支援チームの設置 (3.00) ②子育てサポーターのリーダーの養成 (4.00)

③子育て・親育ち講座の実施 (3.00)

(2) 子育て機能強化推進事業 (3.00)

(3) 家庭教育相談事業(社会教育コーディネーターの配置) (3.00)

(4) 子育て支援ネットワーク充実事業 (3.00)

《総括的な反省・評価》

①福祉部局と連携し、町全体での取組を考えていくとともに、教育・福祉の垣根を越えた協議の場を設け、現場の意見を事業に反映させていく必要がある。

②北海道の事業指定を受け、家庭教育ナビゲーターの養成研修及びスキルアップ研修を実施した。

③子育て・親育ち講座は新型コロナウイルス感染拡大防止対策により未実施となった。

④幼稚園開放事業や子育てに関する相談業務のため、社会教育コーディネーターを配置し、子育てに関するアドバイスができた。

⑤家庭の教育力向上の見地から、子育てを支援する関係各課との連携強化に努める必要がある。

2 家庭教育・子育て支援情報の発信〔町民の読書活動や学習活動の促進に努める〕 **【3.00】**

(1) 各種支援情報の発信 (3.00)

《総括的な反省・評価》

①家庭教育ナビゲーター養成講座・スキルアップ講座の実施により、子育てに関する情報を提供することができた。

3 青少年健全育成事業 総合判定《3. 69》

〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉

(施策項目26 生涯学習の振興)

(施策項目27 社会教育の振興)

1 少年社会体験活動 [少年少女の健全育成を願い、各種の社会体験活動やリーダー育成に努める] 【3.73】

(1) 姉妹都市交流事業 (4.00)

①稲城市児童交流 (4.00)

(2) 友好町交流事業 (4.00)

①氷川町生徒交流 (4.00)

(3) 放課後子どもプラン推進事業(放課後子ども教室) (3.00)

(4) 青少年の体験活動充実事業 (3.67)

①少年ボランティアリーダー研修会 (3.00)

②長期休業中の補充的サポート事業 (4.00)

③網走川流域の会事業 (4.00)

(5) 子ども会活動支援 (4.00)

①子ども会への支援 (4.00) ②子ども七夕まつり (3.00)

③子ども会ミニ運動会 (4.00) ④ジュニアリーダー研修会 (5.00)

《総括的な反省・評価》

①稲城市児童交流・氷川町生徒交流事業により、姉妹都市・友好町との相互交流が図られ、異なる風土や文化に触れることで、見聞を広めることができ、ふるさとを愛する心を育むことができた。

②放課後子どもプラン推進事業により、「放課後児童クラブ」と「子どもワールド21」の連携が図られ、創作・運動・伝統体験活動等本物体験を地域の指導者から学ぶことで、豊かな感性を育むことができた。

③網走川流域の会事業により、地域の豊かな自然環境や産業の問題について知ることができた。

④長期休業中の補充学習サポート事業(朝活サマースクール、ウィンタースクール)を実施し、望ましい生活習慣の習得に努めた。

⑤子ども会育成連絡協議会と協働し、地域のジュニアリーダー養成を図るため、子どもの主体性を育むことを目的とし、初めての試みとして「おもしろ科学の祭典in大空」を実施し、リーダーとしての資質の向上が図られた。

2 青年社会体験活動 [青年の健全育成を願い、各種の社会体験活動やリーダー育成に努める] 【4.00】

(1) 青年団体への支援 (4.00)

(2) 青年連携組織への支援 (4.00)

《総括的な反省・評価》

- ①大空町青年団体協議会が開催する事業実施などへの支援を行い、町内において自主事業が開催され多くの青年が参加した。引き続き、青年自ら魅力ある活動ができるように効果的な活動PRの方法やリーダー養成について支援する必要がある。
- ②5団体の連携組織である大空町青年団体連携会議の活動を支援した。今後、会員主導で企画・運営することができるように団体への指導と異業種の青年組織の横の連携を強化し、町づくりに参画できる人材を養成する必要がある。

3 青少年健全育成活動〔青年の健全育成を願い、補導・指導活動や団体との連携活動及び相談事業を行う〕 【3.33】

- (1) 青少年問題協議会 (3.00)
- (2) 補導・指導活動 (3.00)
- (3) 各種育成団体との連携 (4.00)

《総括的な反省・評価》

- ①インターネット被害（いじめ・SNS・薬物）などについて青少年問題協議会において関係機関と情報提供や意見交換を行った。引き続き子どもを守る体制づくりに努める必要がある。
- ②町のイベント時の合同補導活動、新入学時における通学路の交通安全街頭指導を実施した。学校や地域で子どもを守る体制づくりを継続する必要がある。また、地域防犯マップを住民課と連携して更新し児童生徒に配布したが、今後も関係機関と実態調査を継続的に実施しながらマップを更新し、学校や地域で子どもを守る体制づくりを継続する必要がある。
- ③青少年顕彰式を開催し、青少年の善行に対し表彰を行い、多くの青少年が表彰され健全育成意識を高めた。今後も関係機関が連携し、青少年の健全育成方策について検討する必要がある。

4 芸術・文化振興事業 総合判定 《3. 25》

〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉

(施策項目28 芸術文化活動の推進)

(施策項目29 文化財の保存及び活用の推進)

<p>1 芸術・文化振興(事業) [町民の文化活動への参加及び芸術文化鑑賞の拡大を図る] 【3.00】</p> <p>(1) 町民文化祭 (4.00)</p> <p>(2) 総合型芸能文化倶楽部事業 (2.00)</p> <p>(3) オホーツク演劇祭の開催 (2.00)</p> <p>(4) 文化団体への支援活動 (4.00)</p>
<p>《総括的な反省・評価》</p> <p>①町民文化展により、文化に触れる機会の提供に努めた。町民芸能祭により、日頃の成果を発表できる機会の提供に努めた。</p> <p>②文化団体協議会と連携して総合型芸能文化倶楽部講座を実施し、文化的な活動に触れる機会の創出に努めた。</p> <p>③大空町青少年育成協会により、様々な分野の演劇に関する事業を実施できた。2月に予定していた青少年健全育成講演会、3月に予定していた演劇ワークショップはコロナウイルス感染拡大防止により中止した。</p>
<p>2 文化財等保護・管理活動 [文化財保護・管理のため調査及び普及活動に努める] 【3.50】</p> <p>(1) 文化財保護管理事業 (4.00)</p> <p>(2) 文化財研究審議事業 (3.00)</p> <p>(3) 湿生植物群落保全事業 (3.00)</p> <p>(4) 団体活動への支援・指導 (4.00)</p>
<p>《総括的な反省・評価》</p> <p>①東藻琴生涯学習センターに郷土・歴史資料を展示するための準備を進めることができた。</p> <p>②大空町の郷土資料の収集及び保管、活用における文化財指定要綱及び文化財指定基準について整備した。</p> <p>③湿生植物群落保護・保全対策のため、水芭蕉の原因解明のため引き続き、地下水位計を設置し調査を行った。引き続き保全保護に向け、継続的にデータ収集を行う必要がある。</p> <p>④歴史・文化の継承のため、郷土・歴史文化保勝会の活動などを引き続き支援する必要がある。</p>

- 5 読書活動の推進 総合判定 《3. 75》
〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉
(施策項目27 社会教育の推進)
(施策項目28 芸術文化活動の推進)

1 図書館活動・・・ 指定管理者への委託事業 [町民の読書活動や学習活動の促進に努める]

【3.75】

(1) 図書館活動の推進 (3.50)

①図書館活動への支援 (4.00) ②ボランティア活動への支援 (3.00)

(2) 読書普及及び利用促進活動 (4.00)

《総括的な反省・評価》

- ①学校連携ネットワークシステムにより学校図書館と公共図書館の連携が図られている。
- ②学校図書館の資質向上のため実施をしている学校図書館協会研修会に、公共図書館司書が参加し、情報提供や活動支援に努めている。
- ③図書館ボランティアは、図書普及促進にとって重要な役割を担っており、東藻琴地区において活動を実施している。今後、女満別小学校で活動している読み聞かせボランティアと連携を取り、ボランティア養成を行う必要がある。
- ④指定管理者の自主事業により、図書館の利用促進につながる事業を数多く実施している。教育委員会と情報共有するとともに、読書推進につながる事業を継続できるよう支援する。

6 保健体育振興事業 総合判定 《3. 49》

〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉

(施策項目30 生涯スポーツの普及・振興)

1 社会体育振興(事業) [各種大会や教室、講座等の開催を通じて町民の健康増進とスポーツに対する関心・意欲を喚起する] 【3.38】

(1) 町民スポーツ大会 (3.67)

- ①町民ミニバレーボール大会 (3.00) ②300歳交歓バレーボール大会 (4.00)
③スポーツ縁日 (4.00)

(2) その他スポーツ大会 (4.00)

- ①ジェットラインさわやかマラソン大会 (3.00)
②もこと山ふきおろしまラソン大会 (4.00)
③東北海道6人制バレーボール選手権大会 (4.00) ④女子バレーボール大会 (5.00)

(3) スポーツ教室開設事業 (3.00)

- 《少年少女スポーツ教室》 (3.00)
①スキー教室 (3.00) ②もこと山カンジキ登山 (3.00)
《全町民対象スポーツ教室》 (3.00)

(4) スポーツ体験教室 (3.00)

- ①スポーツ体験教室(ニュースポーツ教室) (3.00)

(5) 総合型地域スポーツクラブ支援事業 (3.00)

(6) スポーツ振興団体の育成 (3.60)

- ①スポーツ協会育成 (3.00) ②スポーツ少年団育成 (3.00) ③指定管理施設との連携 (4.00)
④大会派遣及び指導者養成 (4.00) ⑤その他団体育成 (4.00)

《総括的な反省・評価》

- ①町民ミニバレーボール大会については、参加チーム(自治会)が昨年と比較し10チーム減少となった。東藻琴地区への参加呼びかけに努める必要がある。
- ②300歳交歓バレーボール大会については、参加団体が固定化されてきている。女満別地区での開催(交互開催)を検討したい。
- ③スポーツ縁日については、昨年と比較し、67人減少となった。新種目を取り入れながら飽きることのないイベントとなるよう工夫していきたい。観光客や同会場で実施されている他のイベントの参加者・運営者も参加し相乗効果が図れた。
- ④ジェットラインさわやかマラソン大会については、網走マラソンと別日で開催。女満別高校のみが全校参加となったことから参加者が減少した。一般、親子の参加者拡充も含め魅力あるマラソン大会となるよう工夫が必要である。
- ⑤もこと山ふきおろしまラソン大会については、ゲストランナーにB&G財団理事谷川真理さんを招き、選手への激励により大会を盛り上げていただいた。競技終了後のランニング教室も好評であった。大会運営はスムーズであり、コースについても、市街地の一部区間通行止めとし安全対策を講じることができた。大会運営には引き続き、協力してもらえる人材確保と地域の特色を生かしたマラソン大会としていく必要がある。
- ⑥東北海道6人制バレーボール選手権大会については、地元のバレーボール協会が主体となり開催。官民の連携が図られている。町技がバレーボールの町として位置付ける貴重な大会である。

- ⑦女子バレーボール大会については、両地区のバレーボール協会が統合し大空町バレーボール協会となったことから、男子の部も開催。様々な年代、団体の交流が町技バレーボールを通じて図ることができた。
- ⑧スキー教室は、共催者であるスキー協会と協議し、低学年は平坦なコースの美幌町スキー場を利用、3年生以上は網走のスキー場で実施計画したが、例年のない雪不足だったため、3年生以上の教室は中止となった。
- ⑨ニュースポーツ教室では、両地区それぞれ実施し、親子間の交流、スポーツに親しむ場の提供が図れた。
- ⑩総合型地域スポーツクラブ支援事業については、豊住地域を中心に、旧豊住小学校を拠点にバドミントン、剣道、卓球等様々なスポーツ活動を展開しながら、地域コミュニティの形成や世代間交流を図ることができた。
- ⑪スポーツ協会との連携、情報の共有を密にする必要がある。スポーツ認定員等の指導者育成を支援し、スポーツのさらなる振興を図る必要がある。
- ⑫子どもたちがスポーツに親しむための環境を醸成するために、今後も少年団への支援を継続する必要がある。
- ⑬社会体育施設の有効活用を図るため、指定管理者と連携を図りながら、施設の適正な維持管理に努めるほか、管理受託者の自主事業である各種スポーツ大会・教室を引き続き支援する。
- ⑭本町を代表して上位大会に出場することで、スポーツ等の振興及び活性化が図れている。各種指導者を養成することで、競技力等の向上につながっている。(交付済額907千円(8件))
- ⑮スケートリンク場は例年のない雪不足の為、開設時期が遅れたが、小学校では、授業の一環として活用された。実行委員会と共催のスケート教室は、参加者だけでなく保護者の関心も高く感じた。

2 スポーツ合宿誘致事業 [合宿を誘致しスポーツ団体支援や指導者養成を図る]

【3.60】

- (1) バスケットボール合宿 (4.00)
- (2) 相撲合宿 (4.00)
- (3) バレーボール合宿 (4.00)
- (4) 柔道合宿 (4.00)
- (5) 陸上合宿 (2.00)

《総括的な反省・評価》

- ①帝京平成大学が昨年より引き続き参加、道内チームは、新たに北翔大学が交流試合に参加した。クリニックの開催により、小中学生の技術の向上を図ることができた。施設の利用にあたって、近隣市町との連携を強化する必要がある。
- ②昨年に引き続き、名古屋大学の合宿受け入れを実施。10月の合宿に合わせて第8回大鵬杯相撲大会を青少年育成協会と連携し実施した。合宿中は表敬訪問を行い、地域の活性化が図れた。
- ③町内の小中学生及び近隣の中学生を対象にクリニックを開催した。町内中学生と合同練習を展開し、受講者の技術力と指導技術(練習方法)の向上を図ることができた。初の試みとして選手と地元小中学生の昼食交流会を実施した。
- ④地域との交流(農業体験・JA体験)を図りながら実施した。関東高校の強豪チーム、一流の柔道家の合宿でもあり、道内チームからも合同練習として参加があった。
(旭川龍谷、東海大札幌、恵庭南、北海道栄、札幌山の手)
- ⑤誘致活動を行ったが団体の都合により実施できなかった。

7 社会教育施設・設備の充実 総合判定 《3. 00》

〈基本目標5 学びを活かす地域社会の実現〉

(施策項目31 社会教育施設・整備の充実)

1 社会教育施設〔社会教育（体育）施設の有効活用と施設・設備の計画的な整備に取り組む〕

【3.00】

(1) 社会教育（体育）施設 (3.00)

- ①東藻琴農村環境改善センター (3.00) ②大空町図書館 (3.00)
- ③女満別研修会館 (3.00) ④女満別伝承館 (3.00)
- ⑤東藻琴生涯学習センター (3.00) ⑥ふるさと資料館 (3.00)
- ⑦山園ふるさとセンター (3.00) ⑧青年館 (3.00) ⑨豊住交流センター (3.00)
- ⑩女満別武道館 (3.00) ⑪女満別屋外ゲートボール場 (3.00)
- ⑫屋内ゲートボール場すぱーく東藻琴 (3.00) ⑬女満別艇庫 (3.00)
- ⑭東藻琴スキー場 (3.00) ⑮東藻琴多目的運動広場 (3.00) ⑯女満別ゲートボールセンター (3.00) ⑰大空町B&G海洋センター (3.00) ⑱東藻琴相撲場 (3.00)
- ⑲東藻琴野球場 (3.00) ⑳女満別ふれあい公園パークゴルフ場 (3.00)
- ㉑女満別運動公園 (3.00)

《総括的な反省・評価》

- ①東藻琴農村環境改善センターは、指定管理を受諾しており、受託者と連携を図り適切な維持管理に努めた。
(年間利用者数 9,777人)
- ②大空町図書館は、指定管理を受諾しており、受託者と連携を図り適切な維持管理に努めた。
女満別図書館にブックポストの購入、インターネットの回線分離により、小中学校連携システムの機能が向上された。
女満別図書館 (年間利用者数 5,997人)
(図書貸出数 28,834冊、巡回車 2,886冊)
東藻琴図書館 (年間利用者数 3,778人)
(図書貸出数 19,631冊)
- ③女満別研修会館は、指定管理を受諾しており、受託者と連携を図り、適切な維持管理に努めた。
(年間利用者数 24,096人)
- ④女満別伝承館は、指定管理を受諾しており、受託者と連携を図り、適切な維持管理に努めた。
(年間利用者数 1,867人)
- ⑤東藻琴生涯学習センターは、職員が定期的に施設巡回を行い、適切な維持管理に努めた。改修工事を実施し、施設改修を行った。また、防犯カメラの設置も行い、安全に配慮した。
(年間利用者数 326人)
- ⑥ふるさと資料館は、郷土資料の展示施設として町民向けに開放しているが、受付のあった場合に施設を開場している。
- ⑦山園ふるさとセンターは、郷土資料の保管施設としている。屋根等の老朽化が進み、郷土資料の整理が必要である。
- ⑧青年館は、町内各青年団体の活動の場として提供している。
職員が定期的に施設巡回を行い、団体と連携を図り適切な維持管理に努めた。
(年間利用者数 810人)
- ⑨豊住交流センターは、施設の管理委託をしており、地域のスポーツ活動、会議等で利用されている。また、柔道合宿にも利用されており有効活用が図られている。修繕が必要な箇所について、随時修繕を実施し、円滑な利用に努めた。
(年間利用者数 4,704人)

⑩女満別武道館は、町内の弓道、柔道のほか、太鼓の練習などで活用されている。施設については、職員が定期的に施設巡回を行い、適切な維持管理に努めた。

(年間利用者数 5,202人)

⑪女満別屋外ゲートボール場は、女満別地区に設置されている屋外ゲートボール場であり、コートや休憩施設については、団体が委託業務を請負い、管理している。団体と随時連絡を図り、適切な維持管理に努めた。

(年間利用者数 462人)

⑫屋内ゲートボール場すぱーく東藻琴は、指定管理を受諾しており、適切な維持管理に努めた。ゲートボール場に雨水が溜まるため、排水工事を行い環境改善に努めた。

(年間利用者数 8,400人)

⑬女満別艇庫は、職員が定期的に施設巡回を行い、適切な維持管理に努めた。海洋クラブ等の各種活動拠点として活動を行った。

(年間利用者数 100人)

⑭東藻琴スキー場は、ロッジの管理及びスキー場の運営を委託しており、円滑な運営が行われた。また、冬期間前に芝生の管理、ロープ塔の点検など、安全な運行管理に努めた。

(年間利用者数 967人)

⑮東藻琴多目的運動広場は、芝生管理を委託しており、受託者と連携を図り施設の適正な管理を行った。また、パークゴルフ協会と連携を図り利用者が満足できるコース整備を行った。

(年間利用者数 5,200人)

⑯女満別ゲートボールセンターは、指定管理を受諾しており、適切な維持管理に努めた。

(年間利用者数 17,545人)

⑰大空町B&G海洋センターは、指定管理を受諾しており、適切な維持管理に努めた。東藻琴B&G海洋センタープール上屋シート取替工事・体育館ウレタン塗布業務を行い環境改善に努めた。

(女満別B&G海洋センター年間利用者数 14,018人)

(東藻琴B&G海洋センター年間利用者数 18,691人)

⑱東藻琴相撲場は、町内相撲の振興として土俵などを整備している。子ども相撲大会などで活用されている。

(年間利用者数 538人)

⑲東藻琴野球場は、施設の管理を委託しており、利用団体調整などを図り、有効な施設の利用に努めた。

(年間利用者数 1,580人)

⑳女満別ふれあい公園パークゴルフ場は、町民向けに無料開放されている駅横のパークゴルフ場の管理を委託しているが、職員が定期的に巡回し施設の適正な管理に努めた。

(年間利用者数 263人)

㉑女満別運動公園は、女満別野球場とあわせ隣接した運動広場とテニスコートを管理している。芝生管理は委託しており、適正な管理を図っている。芝生化したことにより、子どもたちや家族での利用が多いが、サッカーやラグビーなどでの活用をさらに推進する必要がある。野球場は、町外からも利用が増え有効活用が図られている。

(野球場年間利用者数 2,202人)

(テニスコート年間利用者数 795人)

(多目的運動広場年間利用者数 1,880人)